

COCニュースレター

Center of Community

NO. 3 平成 27 年 3 月 26 日

十文字学園女子大学地域連携推進機構
(COCセンター)

新座市をキャンパスに! + (プラス) となる人づくり, 街づくり



COC事業

須田健治新座市長による
基調講演Ⅰ
「新座市が進める
まちづくり」



義本博司文部科学省大臣官房
審議官 (高等教育局担当) による
基調講演Ⅱ
「COC事業のめざすもの」



キックオフシンポジウム 2・28開催 ふるさと新座館

2月28日(土)、新座市のふるさと新座館ホールで「新座市をキャンパスに! + (プラス) となる人づくり, 街づくり」をテーマに、COC事業のキックオフシンポジウムが開催され、新座市民、他大学COC担当者、本学教職員ら約170人が来場した。

第1部は須田健治新座市長と義本博司文部科学省大臣官房審議官による2つの基調講演、第2部のパネルディスカッションでは、地域連携推進機構副機構長の星野敦子教授がコーディネーターとなり、義本審議官と、COC事業に取り組んでいる松本大学の総合経営学部木村晴壽教授、NPO法人新座子育てネットワークの坂本純子代表理事が意見交換をし、大学との連携の意義、具体的な取組や継続することの重要性などを話し合った。



今回地域デビューした本学マスコットキャラクターのプラスちゃん(左)が、新座市イメージキャラクターゾウキリンと揃って来場者を出迎えた

COC事業 TOPICS

「地域創りの新たな視点を体感する」セミナー開催

コミュニティーデザインを活用した地域創りについてのセミナーを2月16日、753教室で開催した。教職員、新座市保健センターの管理栄養士や地域活動栄養士のメンバー、他大学の学生、院生など学外からの参加者も多かった。

studio-L 所属のコミュニティーデザイナー西上ありささんを講師に、コミュニティーデザインの理解を深めたうえで、西上さんが携わった「しまのわプロジェクト」(瀬戸内地方での観光まちづくり)や「家島プロジェクト」(兵庫県家島での観光まちおこし)の事例を通し、デザインが果たした機能を学び、議論した。



研究テーマ「ワークショップを用いた地域の課題解決と人材育成の手法に関する研究」
(代表: 松永 修一教授)

ふるさと新座商店会チャリティー餅つき大会

ふるさと新座商店会主催「チャリティー餅つき大会」が2月7日、野火止ふるさと広場(ふるさと新座館前)で開かれ、本学の学生たちがつきたての餅400食を提供した。

学生たちはCOC事業の一環として企画段階から関わってきた。当日はJ和太鼓部の力強い演奏と、野鳥ゼミの学生による秩父市太田部地区の伝統的な太鼓と踊りが披露され、「ゾウキリンくらぶ」が豚汁を、狩野ゼミが「ゆずみそポテト」を販売した。



研究テーマ「新座駅前における『ふるさと』創生の試み」
(代表: 川瀬 基寛准教授)

「恋する大学改革」第1回見学会 (共愛学園前橋国際大学【高等教育】)



COCの地域志向教育研究の一環として2月26日、十文字の教職員とともに前橋市・共愛学園前橋国際大学の施設見学に行った。同校大森副学長の大学に対する熱い想い、そして何よりも大学の「文化形成」や「風土」、「組織」について学び、多くの刺激を受けた。

研究テーマ「恋する大学改革～地域貢献+ (プラス) 教育改革～」
(代表: 石川 敬史講師)

ヘルシーダンスでリフレッシュ

2月4、13、17、24日に、記念ホール1Fサブアリーナにてヘルシーダンス講習会を実施、80歳代まで約30名(各回)が参加した。高齢者にも無理がなく、普段あまり運動をしていなくても「これなら続けられる」と好評のヘルシーダンス。4、5人のグループ内に学生が1人入り参加者をサポート。ダンス終了後には「振り返りの時間」を設け、地域の方との交流も行った。



参加した学生からは「高齢者の方はとてもパワフル! 私も見習いたい!」との声も。

研究テーマ「運動を通じた地域交流の活性化」
(代表: 飯田 路佳准教授)

地域志向教育研究ご紹介

採択された42のテーマについて順次ご紹介していきます

シリーズ

3

「ワークショップを用いた地域の課題解決と人材育成の手法に関する研究」

—地域課題解決型研究推進費—

○代表者／松永 修一教授（メディアコミュニケーション学科）

○プロジェクト構成員／松永ゼミ（3・4年生16人、留学生14人）、宮川保之教授（教職課程センター）、長澤伸江教授（食物栄養学科）、柏葉修治教授（人間発達心理学科）、瀬谷恵美准教授（幼児教育学科）、柳澤貞夫次長（総務部）、樫本圭司課長（会計課）

○取組概要

これまでも地域での活動は行ってきたが、昨年の夏からはコミュニティーデザインという地域の課題発見解決の手法を活用した取組を実施している。主にワークショップを用いるが、学生たちは毎週授業で行っているため、地域で実施の際は、グループ分けをし、その中に必ず学生がファシリテーターとして参加し、地域の方の意見を聞き出しまとめている。このコミュニティーデザインという手法は新たな地域貢献のあり方である。

授業と連動しながら、地域とのつながりをさらに深め、地域と学生が共に学び、成長していけるよう、引き続き実践的な活動を行っていききたい。

コミュニティーデザインという手法を活用し、地域と学生が共に学びながら新たな地域貢献のあり方を追求しよう！

シリーズ

4

「運動を通じた地域交流の活性化」

—地域連携創造・支援事業—

○代表者／飯田 路佳准教授（メディアコミュニケーション学科）

○プロジェクト構成員／飯田ゼミ（2・3・4年生24人）、高橋京子教授（リメディアル教育センター）
青木己奈助手（児童教育学科）

○取組概要

毎年2月に4週にわたって開催しているヘルシーダンスは、地域の高齢者の方、高齢者へ運動指導をしている方などと共に学生も参加。高齢者の方たちの「ヘルシーダンスを積極的に楽しもう！」というエネルギーに影響され、学生たちが自然に教える立場となりコミュニケーションの輪が広がるとともに、授業とは違った学びや体験によって学生の成長につながっている。

参加者からは「毎週実施してほしい」という声もある。笑顔があふれ、健康に良いヘルシーダンスを多くの方に体験してもらうために、学生たちとの交流を大切にしながら、月に一度の開催なども視野に入れ検討していく。

ダンスを通じて学生と高齢者が自然に交流。笑顔いっぱい、心身ともにリフレッシュ！

【COCおよび関連事業・今月の取組】 ※今後の予定がございましたら、COCセンターまでお知らせください！

- 3/ 8(日) 10:00～ ワークショップ「デートDVってなに？～思春期の子どものためにおとなが知っておくこと～
にいざほっとぶらざ（講師：斉藤薫氏、堤暢子氏 担当：小林直美助手）
- 13(金) 14:00～ 野火止水保全推進プロジェクト 8411 教室（担当：星野敦子教授）
- 16(月) 10:00～ 「+（プラス）ママの子育てサロン」 121 児童学演習室（担当：鈴木晴子講師、上垣内伸子教授）
- 18(水) 13:30～ 新座市の児童生徒の喫煙開始予防に向けた指導者育成 新座市役所内会議室（担当：齋藤麗子教授）
- 22(日) 14:00～ 公開研究会「ずっとそばにいるよ ～妊娠期からの切れ目のない地域子育て支援とは～」 753 教室
（担当：向井美穂准教授、上垣内伸子教授）
- 28(土) 10:00～ 「桜まつり黒目川ウォーキング ホテル公園&妙音沢コース」 受付：朝霞台駅南口（担当：星野敦子教授）



COC 関連図書コーナー開設！！

大学図書館1階・カウンター前に、COC関係の資料を集めた本棚が出来ました。

「埼玉県」「新座市」「地域連携」に関する本や、地図、ガイドブックなど、「地域」を幅広くとらえ、集めてあります。

「大学の所在地『菅沢』の由来とは？」「思わず人に話したくなる埼玉学」ほか、歴史、人物、文化、産業、雑学まで楽しく知ることができます。

50冊以上の新しい本で構成。ぜひ、活用してください！！

本学マスコットキャラクタープラスちゃん

地域を知ろう！

COCについて深めよう！

